

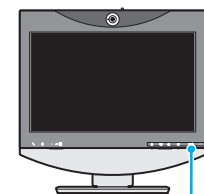
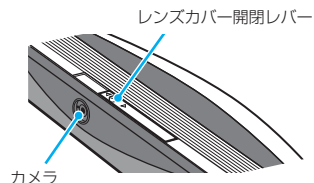
# 簡単接続ガイド

詳しい操作のしかたは、取扱説明書をご覧ください。

## はじめに

レンズカバーを開け、ビデオコミュニケーションシステムの電源を入れましょう。

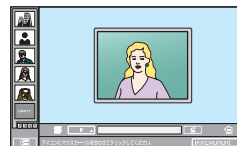
本機には、カメラを隠すためのレンズカバーがついています。ビデオ会議を始める前に、本体上部のレンズカバー開閉レバーを右にスライドさせ、レンズカバーを必ず開けてください。レンズカバーが閉まったままでは、自分側の映像が相手に見えません。



I/O (電源) スイッチ

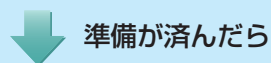
本機の I/O (電源) スイッチを押します。

スイッチのインジケータがオレンジ色に点灯し、本機の電源が入ります。起動が完了すると緑色に点灯します。ディスプレイにはランチャーメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。



## 通信中に表示される主なインジケータ

	静止画を送信中
	静止画を受信中
	DSMデータを送受信中
	回線の状況を表示します。
	マイクの入力レベルを表示します。マイクがオフのときは表示が  に変わります。



## 接続しましょう

ワンタッチダイヤルで相手呼び出す

**1** 呼び出したい相手を登録しているワンタッチグループのタブをクリックする。

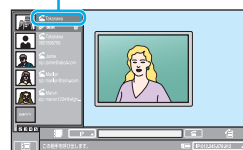
ワンタッチグループが切り替わります。



ワンタッチグループのタブ

**2** 呼び出したい相手にマウスカーソルを合わせ、「ダイヤル」をクリックする。

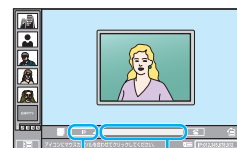
ダイヤル



選択した相手にダイヤルが始まります。

ランチャーメニューでIPアドレスを入力して相手呼び出す

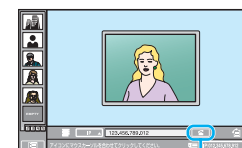
**1** 回線インターフェースに「IP」を選択する。



回線インターフェース  
番号入力欄

**2** 番号入力欄をクリックし、表示されたソフトキーボードで、相手のIPアドレスを入力し、OKボタンをクリックする。

**3** (ダイヤル) ボタンをクリックする。



ダイヤルボタン

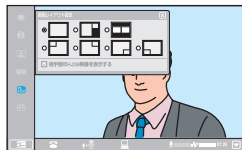
入力した相手にダイヤルが始まります。

# 簡単操作ガイド

詳しい操作のしかたは、取扱説明書をご覧ください。

## 画面レイアウトの設定

希望のレイアウトを選択すると、画面が切り替わります。



### 全画面表示



相手画面のみが全画面で表示されます。

### ピクチャーアンドピクチャー表示



相手画面が全画面で左側に、自画面が子画面で右側に表示されます。

### サイドバイサイド表示

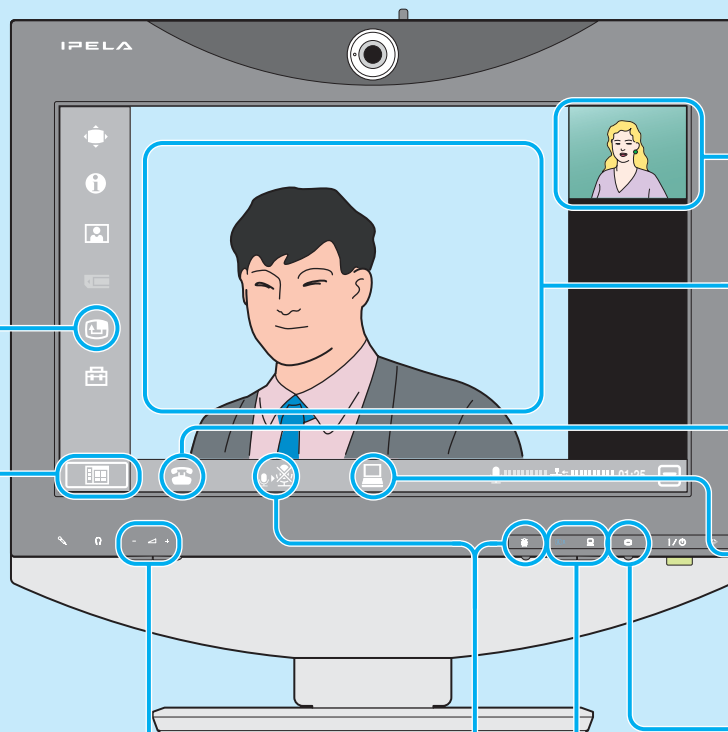


相手画面が左側に、自画面が右側に、同じ大きさで表示されます。

### ピクチャーインピクチャー表示



相手画面が全画面に、自画面が子画面に表示されます。子画面の表示位置は、四隅のいずれかから選択できます。



## カメラの調整 (自分側/相手側)



相手または自分のカメラ画像を右クリックすると、ズーム調節用のボタンとアングル調節用のスクロールバーが表示されるので、各機能の調整を行います。

非表示にするには、再度右クリックします。メニューバーの をクリックすると表示されるカメラコントロールメニューでも調節できます。

## 通話の終了 (切断)

クリックすると通話が切断されます。

## データの送信

データソリューションモジュールPCSA-DSM1を取り付けている場合のみ表示されます。クリックすることによってデータの送信/解除を行います。

## DTMFの送信

(メニュー) ボタンを3秒間押し続けるとDTMF用ソフトウェアキーボードが表示されます。



送信したい数字ボタン (0 ~ 9、#、\*) をクリックすると、トーン信号が相手に送られます。

## 画面の切り換え

(PC) ボタン、 (ビデオ会議) ボタンを押すことで、ビデオ会議画面とコンピューター画面を切り換えることができます。

## 音量の調節

(音量) ボタンで音量を調整します。

+ : 音量が大きくなります。  
- : 音量が小さくなります。

## マイクオフ

自分側からの音声を相手に送るのを中断するときを押します。再び音声を相手に送るときは、もう一度押します。

## メニューバーの表示/非表示

(メニューバー表示) ボタンをクリックすると、メニューバーの表示/非表示を切り換えることができます。